

漁業研修会「三二組合学校」



右から、川原組合長、利尻漁協漁業士会（佐々木、能村、町村、上田、小坂）



来賓挨拶 川原組合長



講演 道漁連 本間参事補



座談会座長 佐々木漁業士



青年部員を中心に、漁協職員や利尻町、利尻富士町からも参加した

(1) 日 時 平成22年2月9日 16:30~19:00

(2) 場 所 利尻漁業協同組合会議室

(3) 主 催 利尻漁業協同組合漁業士会 (5名参加)

(4) 参加者数 58名

利尻漁業協同組合・同青年部(4地区)、北海道漁業協同組合連合会、利尻地区水産技術普及指導所、中央水産試験場(普及指導員)、利尻富士町、利尻町

(5) 研修会開催の目的

漁業士会活動の一環として、会員の資質の向上はもとより、担い手の育成、地域の活性化に寄与する目的で昨年より研修会を開催している。

今回は、組合若手職員と青年部員を対象に講演を聞き「組合とは何か」について理解を深め、青年部の連携強化等、今後の活動について情報交換する機会として開催。

(6) 研修会内容

・講演：「変革の時代に漁業は生き残れるか」～国の水産政策って何？協同組合の役割って何？～

講師：北海道漁業協同組合連合会 漁政部参事補 本間 靖 敏

・座談会：「今後の青年部のあり方について」

座長：利尻漁協漁業士会 会長 佐々木青年漁業士

利尻漁協の青年部は、漁協合併後も、各支所(旧単協単位)で別々に活動している。

「協同組合の意義・価値」や「今後の青年部のあり方」が再認識され、参加した青年部員からは「いっしょに活動しよう」との意見が多く出された。

参加した青年部員は、今後の活動のために力を合わせることを確認し合った。